

COMPANY REPORT

証券コード：8051

第63期 中間報告書

2008年4月1日から2008年9月30日まで



株式会社 山善



代表取締役社長

高橋 亨

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

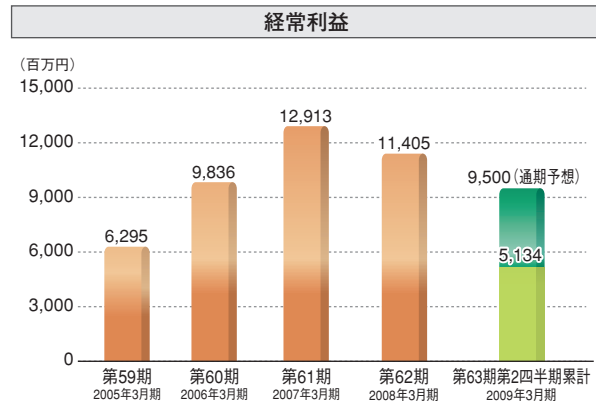
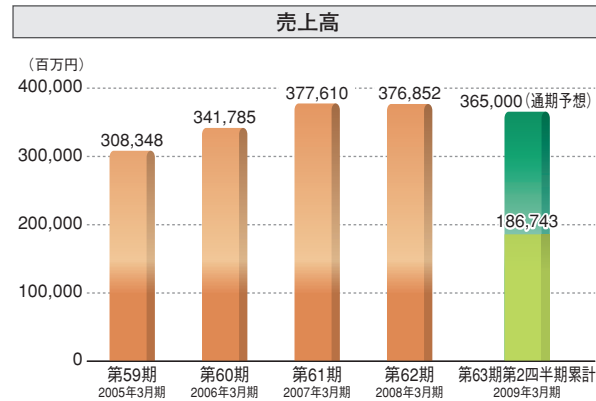
この度、当社第63期（2008年4月1日から2009年3月31日まで）の第2四半期決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱や原油・原材料価格の一層の高騰などにより、企業収益は総じて減少傾向に転じ、景気の減速感が強まってきました。

当社を取り巻く事業環境においては、国内生産財分野では設備需要の減速傾向が顕著となり、消費財分野では住宅着工戸数が改善してきたものの、依然として低い水準にあり、厳しい状況での推移となりました。海外生産財は地域によりバラツキがあるものの、新興国を中心に設備需要が底堅く、堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画「GVP15」2年目の事業戦略に基づき、強みとする提案営業力（ソリューション力）や商品力・情報力などを活かした「どてらい市」や部品加工展、工場環境展等の「専門展示会」などの事業施策を、全国各地においてきめ細かく実施してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は、186,743百万円となりました。利益面におきましては、



営業利益が4,702百万円、経常利益が5,134百万円、四半期純利益が2,892百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、米国発の金融危機が世界的な株価の下落や円相場の急伸におよび、わが国経済は景気減速感が強まっております。当社を取り巻く事業環境も、消費財分野では持ち直しの動きが見られるものの、生産財分野では設備投資の見直しの動きが広がりつつあり、先行きの需要動向を厳しく受けとめております。

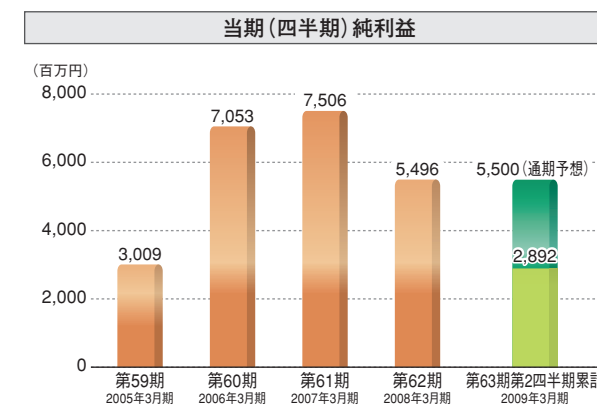
そうした状況下、当社は経営の効率化・合理化に一層注力するとともに、強みとするソリューション営業を多面的な角度から積極的に展開してまいります。また、環境優良商品の販売を通じ、今後も「環境」と「ビジネス」の両立を目指します。

通期の業績予想は、売上高365,000百万円、営業利益8,800百万円、経常利益9,500百万円、当期純利益5,500百万円を見込んでおります。

今後とも、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、株主の皆様のみますますのご健勝とご発展を心より祈念申し上げます。

2008年12月



部門別の概況

■生産財関連部門

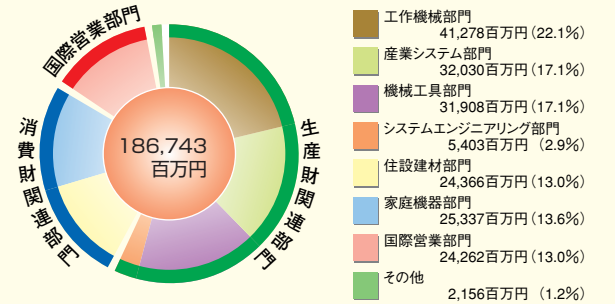
世界経済の後退懸念を背景に設備投資を見直す動きが企業に広がり、航空機向けやメカトロシステム機器、切削工具等の底堅い需要分野もありますが、自動車、電機、一般機械向けの需要にブレーキがかかりはじめ、全体的には設備需要や生産稼働率が鈍化傾向で推移しました。その結果、当第2四半期累計期間の生産財関連部門（工作機械、産業システム、機械工具、システムエンジニアリング）の売上高は110,620百万円となりました。

■消費財関連部門

新設住宅着工戸数は、改正建築基準法施行の影響が薄れ回復基調にありますが、資材価格の高騰や価格競争激化などにより、住宅関連業界は引き続き厳しい環境での推移となりました。こうした中、当社では業界初の「グリーン・ボール・プロジェクト」の推進により、省エネ商品の販売増が下支えしました。また、家庭機器分野では安全・安心を第一とした商品開発や品質管理に格別注力してきた成果が着実に現れ、家庭用扇風機や調理家電が大幅な伸びとなり、エクステリア・レジャー、工具・園芸も順調に伸長しました。その結果、消費財関連部門（住設建材、家庭機器）の売上高は49,704百万円となりました。

■国際営業部門

米国が横ばい、台湾は大型プロジェクトが一段落したことから減少しましたが、タイ、マレーシア、中国が牽引役となり、工作機械はじめ機工関連商品が順調に伸長しました。その結果、国際営業部門の売上高は24,262百万円となりました。



連結財務諸表

◆連結貸借対照表

科目	当第2四半期末 (2008年9月30日現在)	前期末 (2008年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	144,301	148,338
現金及び預金	25,963	29,221
受取手形及び売掛金	96,733	96,751
有価証券	6,055	8,580
商品	13,137	11,398
繰延税金資産	1,074	935
その他	2,244	2,232
貸倒引当金	△ 906	△ 780
固定資産	24,190	25,853
有形固定資産	12,220	12,213
建物及び構築物	4,300	4,287
機械装置及び運搬具	116	140
工具、器具及び備品	160	146
土地	7,637	7,639
その他	5	—
無形固定資産	1,403	1,456
ソフトウェア	1,062	1,155
その他	341	301
投資その他の資産	10,566	12,183
投資有価証券	6,547	8,049
長期貸付金	87	88
破産更生債権等	470	456
前払年金費用	2,315	2,423
繰延税金資産	24	24
その他	1,729	1,741
貸倒引当金	△ 607	△ 599
資産合計	168,492	174,192

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (2008年9月30日現在)	前期末 (2008年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	125,743	131,602
支払手形及び買掛金	109,525	113,375
短期借入金	6,806	11,386
未払法人税等	2,532	1,020
賞与引当金	1,913	1,776
その他	4,964	4,043
固定負債	5,041	6,150
長期借入金	3,023	3,096
引当金	69	72
繰延税金負債	832	1,520
その他	1,114	1,461
負債合計	130,784	137,753
純資産の部		
株主資本	38,239	36,050
資本金	7,909	7,909
資本剰余金	6,081	6,081
利益剰余金	24,264	22,075
自己株式	△ 16	△ 15
評価・換算差額等	△ 531	388
その他有価証券評価差額金	841	1,767
繰延ヘッジ損益	△ 26	△ 68
為替換算調整勘定	△ 1,347	△ 1,309
純資産合計	37,707	36,439
負債純資産合計	168,492	174,192

◆連結損益計算書

科目	当第2四半期(累計) (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)
売上高	186,743
売上原価	165,348
売上総利益	21,394
販売費及び一般管理費	16,692
営業利益	4,702
営業外収益	1,319
受取利息	787
受取配当金	96
デリバティブ評価益	247
その他	188
営業外費用	887
支払利息	794
手形売却損	8
その他	84
経常利益	5,134
特別利益	0
固定資産売却益	0
特別損失	61
固定資産売却損	5
固定資産除却損	0
投資有価証券評価損	56
税金等調整前四半期純利益	5,073
法人税、住民税及び事業税	2,405
法人税等調整額	△223
四半期純利益	2,892

(単位：百万円)

◆連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第2四半期(累計) (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 41
投資活動による キャッシュ・フロー	1,122
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 6,132
現金及び現金同等物に係る 換算差額	11
現金及び現金同等物の 増減額(減少：△)	△ 5,040
現金及び現金同等物の 期首残高	36,668
現金及び現金同等物の 四半期末残高	31,627

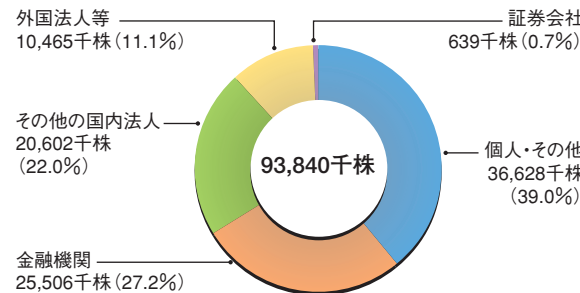
(単位：百万円)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	93,840,310株
株主数	6,708名

所有者別株式分布状況



大株主の状況

株主名	持株数	出資比率
山善取引先持株会	6,661 (千株)	7.0 (%)
東京山善取引先持株会	5,129	5.4
株式会社みずほコーポレート銀行	4,673	4.9
株式会社森精機製作所	3,399	3.6
株式会社りそな銀行	3,067	3.2
山善社員投資会	2,996	3.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,886	3.0
名古屋山善取引先持株会	2,047	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4G)	2,020	2.1
富士火災海上保険株式会社	1,793	1.9

会社概要

商号 株式会社 山善
 設立 1947年(昭和22年)5月30日
 資本金 7,909百万円
 本社所在地 大阪本社 〒550-8660 大阪市西区立売堀2-3-16
 東京本社 〒216-8505 神奈川県川崎市宮前区宮崎156
 営業拠点 大阪・東京・名古屋・九州(福岡)・広島
 ほか国内53事業所、海外現地法人14社(49事業所)
 主要取引銀行 みずほコーポレート銀行・りそな銀行・三井住友銀行・三菱東京UFJ銀行・みずほ信託銀行
 従業員数 2,108名(連結)

取締役及び監査役

代表取締役社長 吉居 亨 最高経営責任者(CEO)
 代表取締役副社長 緒方 文由 最高執行責任者(COO) 営業担当 兼 経営企画担当
 専務取締役 笠原 貞治 東日本営業本部長
 専務取締役 谷 雄三 大阪営業本部長
 専務取締役 木村 育英 最高財務責任者(CFO) 管理本部長
 常務取締役 端 武仁 機械統括部長
 常務取締役 山本 政美 国際本部長
 取締役 清木 勝彦 IT統轄責任者(CIO) 経営企画本部長
 取締役 西尾 幸治 工具統括部長
 常勤監査役 岩口 勇
 監査役 青木 義雄
 監査役 阪口 誠
 監査役 吉村 勲

TOPICS

トピックス

「グリーン・ボール・プロジェクト」エコ機器のCO₂削減量をCERに交換



当社は、工業用コンプレッサーやエコキュートなどの環境優良機器の導入によるCO₂削減量を数値化し、国際的に認証された排出削減量クレジット(CER)と等価交換できる「グリーン・ボール・プロジェクト」を7月よりスタートしました。エコ機器を販売する中小企業に、削減量に応じたCERを付与する仕組みで、エコ機器によるCO₂削減効果の信頼性と、中小参加企業の意識向上に貢献すると同時に、国内CDM制度確立に向け国際ルールとのギャップを埋める一つの手段として注目されています。

アウトドア、園芸用品で清水国明「ベストセクション」シリーズを発売



当社は、芸能界きってのアウトドア派として知られるタレント・清水国明氏と提携し、アウトドア、園芸用品を中心に清水氏推奨の「ベストセクション商品」を選定・開発しています。第一弾となるベストセクション商品を選定、7月に東京で開催された「東京アウトドアズフェスティバル」では、清水氏が代表を務めるワークショップリゾート社と当社とで共同ブースを設け、およそ35点の「ベストセクション商品」を展示しました。今後も、ベストセクション商品の拡充を図りつつ、さらに使い勝手の良い商品作りのため、清水氏との共同開発も計画しています。

ドイツに現地法人設立、ポーランドにも新拠点

当社は欧州市場の営業強化を目指し、従来の欧州拠点を再編、新たにドイツに現地法人「YAMAZEN GmbH」を設立、同時に傘下としてプラハ(チェコ)営業所とワルシャワ(ポーランド)事務所を開設します。

機工商品を中心に、デジタル家電や自動車産業向け工場設備・機器(組立機器・工具、自動化機器、計測・測定機器等)及び環境機器の販売を強化する方針で、中・東欧地区及びドイツ南部地区(ミュンヘン)の日系・外資ユーザーの新規開拓を展開、3年後には欧州地区での取扱高を15億円に引き上げる計画です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	100株
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部 株式会社大阪証券取引所 市場第1部
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行きます。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

<郵便物送付先・お問合せ先>

	2008年12月30日まで	2009年1月5日より
郵便物送付先	〒135-8722 東京都江東区佐賀1-17-7 みずほ信託銀行 証券代行部	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
お問合せ先 (未払配当金の受領など)	フリーダイヤル 0120-288-324 (変更ありません)	

〇お知らせ

2009年1月5日より株券が電子化されます。そのため株式に関するお手続きに変更がある場合がございますのでご注意ください。詳しくは、上記「お問合せ先」にお問合せください。

なお、移行日前後における単元未満株式の買取・買増請求につきましては、一定期間受付できないこととなりますので、お含みおきいただきますようお願いいたします。



URL <http://www.yamazen.co.jp>



国内全事業所 認証取得

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 8051

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから、2009年2月10日(火)までです。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

IR情報発信代行サービス
D-IJ ディア・ネットサービス
net service

当社の企業ニュースや財務活動をEメールにてタイムリーにお知らせしています。

当社ホームページよりご登録(無料)ください。

(IR情報発信代行サービス「ディア・ネット」を通じて配信しています。)